

2023年度(2024年3月期) 第3四半期決算関連資料

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

2024年2月5日



Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

目次

■ 2023年度第3四半期(累計)決算

- ・2023年度第3四半期(累計)業績
- ・事業グループ別受注高・売上収益・受注残高

■ ビジネスピックアップ

- ①IoTube & THEASIGHT が実現する安心・安全な社会
- ②「PROJECT TREE」天然ゴムトレサビリティシステム
- ③2023年9月 台湾事務所開設



Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

2023年度第3四半期(累計)業績

		(億円)		
	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	増減額	増減率
売上収益	3,990	4,418	+ 428	+ 10.7%
売上総利益	942	1,098	+ 157	+ 16.6%
(売上総利益率)	(23.6%)	(24.9%)	(+1.3p)	-
その他の収益及び費用	▲664	▲743	△ 79	+ 11.8%
営業利益	277	355	+ 78	+ 28.1%
(営業利益率)	(7.0%)	(8.0%)	(+1.0p)	-
当社株主に帰属する 四半期純利益	192	249	+ 57	+ 29.4%
受注高	4,093	4,469	+ 376	+ 9.2%
受注残高	3,499	4,021	+ 522	+ 14.9%

2023年度第3四半期(累計)業績

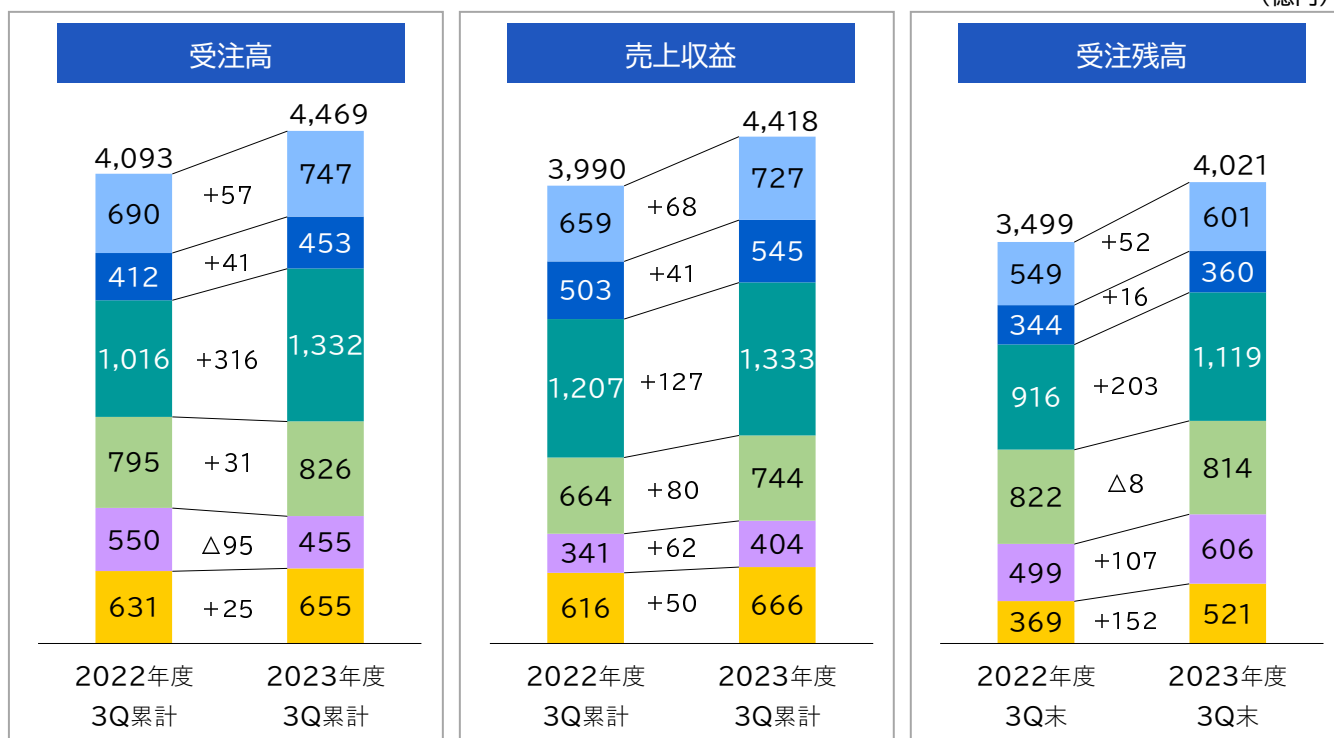
受注高	- 顧客の旺盛なDX需要を着実に捉えることで、更なる受注増を実現 - 自動車、半導体などの製造業や運輸及び、小売業向けではデジタル化案件が好調 - 通信事業者向けでは通信設備案件と非通信事業のサービス基盤構築案件が伸長
売上収益	- 好調な受注、高水準にある受注残高を背景に全事業グループで増収 - 製造業、エンターテインメント、社会インフラ、地方自治体、政府系金融機関など広範な顧客に向けた製品販売やシステム構築案件が好調 - 通信事業者向けでは非通信事業のサービス基盤構築案件が好調
売上総利益	増収効果、及び売上総利益率が+1.3p上昇し増益
その他の収益及び費用	- 販売費及び一般管理費が増加 - 社員数の増加、昇給などによる人件費の増加 - 営業活動の活発化や社内IT環境の整備などによる費用の増加

2023年度第3四半期(累計)

事業グループ別受注高・売上収益・受注残高

■エンタープライズ ■流通 ■情報通信 ■広域・社会インフラ ■金融 ■その他

(億円)



エンタープライズ



受注

製造業全般、運輸、サービス業などにおけるDX・クラウドに対する投資が好調。運輸向けIoTカメラソリューション(P7.ビジネスストピック①参照)といった社会課題解決型ビジネスも増加した

売上

半導体製造業向け製品販売・システム構築、運輸及び情報サービス業向けシステム開発、建設業向けセキュリティなどが好調

流通



受注

小売業向けのシステム開発、運輸向けSAP導入支援、食品向けクラウド導入支援などが好調

売上

エンターテインメント向け製品販売、運輸向けSAP導入支援、小売業向けシステム開発などが好調

情報通信



受注

通信事業者向けの通信設備案件や非通信事業のサービス基盤構築案件などに加え、情報サービス事業者との共創ビジネスによるインフラ構築で増加した

売上

通信事業者向けの非通信事業のサービス基盤構築案件などにより増加した

広域・社会インフラ



受注

半導体製造業向けのIT基盤整備、自動車製造業向けのDX関連ビジネスが活況。その他、公益向けの製品販売や社会インフラ向けのソフトウェアライセンス販売が増加した

売上

社会インフラ、地方自治体や半導体関連向けのソフトウェアライセンスが好調

金融



受注

前年の政府系金融機関向けIT基盤構築案件などの反動あるも、系統金融機関向けクラウドサービス構築及びメガバンク向けデータ統合基盤案件など、DX関連ビジネスが引き続き好調

売上

前年に受注した政府系金融機関向けIT基盤構築案件の着実な売上計上や、メガバンク向けグローバル業務システム開発案件などにより増加した

その他



受注

海外事業会社(北米)における情報サービス向け製品販売などが増加した

売上

国内事業会社における製造業向けの製品販売、海外事業会社(マレーシア)におけるエネルギー向けの製品販売などが増加した

ビジネスピックアップ①

IoTube & THEASIGHT が実現する安心・安全な社会

アイオーチューブ

テア サイト

What is IoTube & THEASIGHT ?



- IoTカメラが人を「見守り」、異常が発生した際には即時にサービス利用者に異常を知らせるLED蛍光灯一体型のIoTカメラソリューション
- NTTコミュニケーションズ(株)、(株)MOYAIと当社の3社で協業し提供
- 2022年8月の発売開始以降、複数の鉄道会社へ納入し、車両内で1日あたり950万人※の安心・安全を見守っている
※当社試算

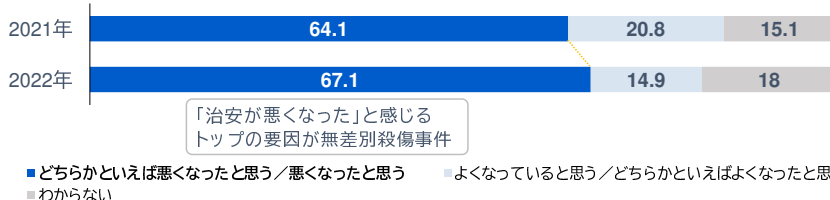
Background

日常生活における安心・安全に対する社会のニーズは増大している

刑法犯の認知件数(万件)



ここ10年で、日本の治安はよくなったと思いますか。それとも悪くなったと思いますか。(%)

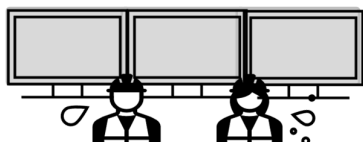


Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

7

ビジネスピックアップ①

【これまで】



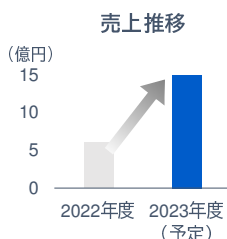
- ・ 監視カメラを設置するコストの問題
- ・ 人の目に頼った監視ですべてを見られない
- ・ 異常時の検知、確認が即時にできない恐れ

【IoTube & THEASIGHT で可能になること】



Why IoTube & THEASIGHT ?

- 既存の蛍光灯から付け替えるだけで利用可能で、カメラの設置工事が不要のため、導入時のトータルコストを抑えられる
- 通信回線の工事なしで、録画からデータ通信、端末での保管・確認までワンストップで利用可能、且つ運用もセットになった独自ソリューション
- 2022年8月の発売以降、売上は順調に推移(右図参照)



- さらなる安全な社会の実現に向けて、様々な場所で「見守り」は今後ますます必要とされてくる



Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

8

ビジネスピックアップ②

「PROJECT TREE」天然ゴムトレーサビリティシステム

What is “PROJECT TREE”?

- 天然ゴム供給のサステナビリティ実現を目的として、伊藤忠商事株式会社が推進するプロジェクト。人権問題の解決、違法伐採の減少、生産性の向上などを旨とする。



児童労働・強制労働



違法伐採

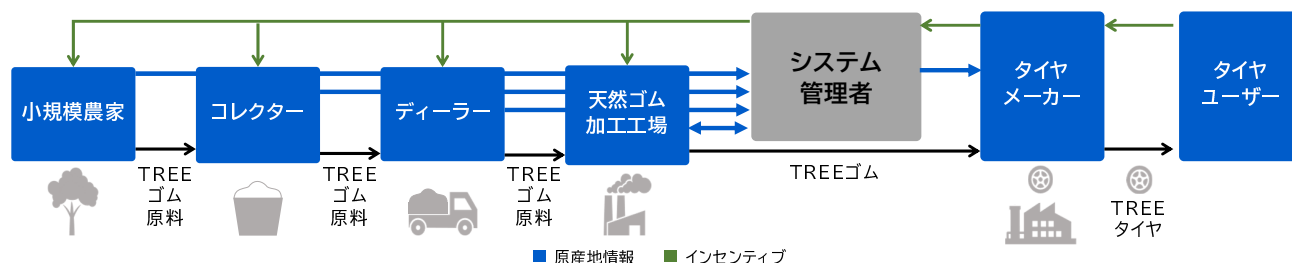
- 原料採集地の情報をGPSで取得し、トレーサビリティシステムに記録。適切な農園・労働環境で原料を採集する農家やサプライヤーに対し、インセンティブとして報酬や技術研修を与える。



サステナブルな天然ゴム供給

- CTCは、ブロックチェーン※の技術を活用したトレーサビリティシステムの構築を担当。

※ブロックチェーン：ネットワーク上にある端末同士を直接接続し、取引記録を暗号技術を用いて分散的に処理・記録する技術。



Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

9

ビジネスピックアップ②

Why CTC ?

- CTCは、お客様との良好なリレーション、ビジネスへの理解に基づく柔軟なシステム構築ノウハウを有しており、最適な技術を組み合わせる「技」によって、課題を解決する提案が可能。

ITを活用した独創的かつ国際的な取り組みとして
業界団体からも高い評価を獲得



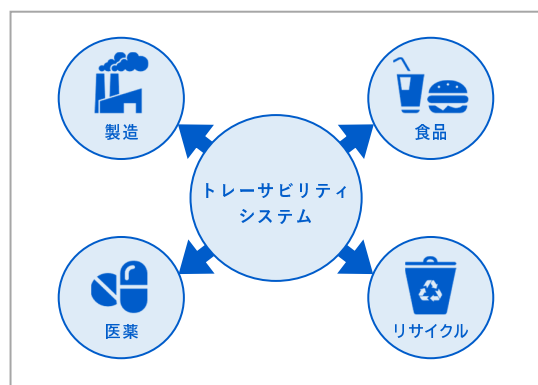
JISA Awards 2023 Winner



ASOCIO 2023 ESG Award

What is Next ?

- トレーサビリティシステムは、サプライチェーンマネジメントを強力に支えながら、プロダクトの品質やSDGsへの配慮を証明でき、顧客満足度の向上に繋がることから、様々なビジネスへの応用が可能。
- EUでは2024年末より、対象品（パーム油、牛肉等）に対して「森林破壊・森林劣化フリー」の証明を求める森林破壊防止法が適用されるため、トレーサビリティシステムの需要は益々高まっている。

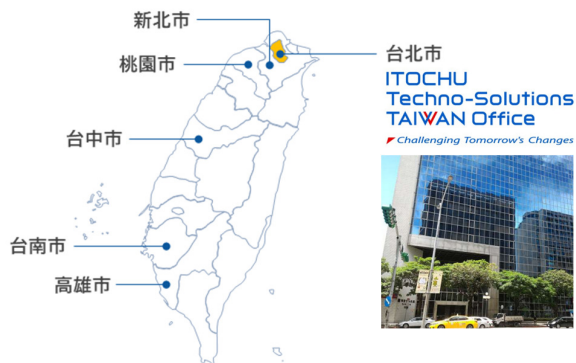


Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

10

ビジネスピックアップ③ 2023年9月 台湾事務所開設

Mission of Taiwan Office



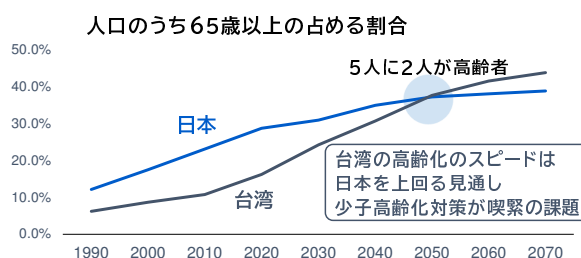
日本への展開を見据えた 台湾発ソリューションの発掘

- 台湾の主要都市(左図参照)で先進的なソリューションを発掘し日本国内やグローバルへの展開を目指す
- また、CTCが日本国内で培ってきたITサービスの台湾への展開可能性も調査していく

Background

台湾の地方自治体や民間企業はAIやIoT等のテクノロジーを使った社会問題の解決に積極的

少子高齢化、世代間・地域格差から生じるデジタルデバイドや地震・水害等の自然災害など、日本と台湾が抱える社会課題には共通点が多く、台湾で用いたITソリューションは日本の社会課題解決への応用の可能性がある



Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

11

ビジネスピックアップ③

ITソリューションの発掘に向けて、
中央政府・地方自治体・民間企業・
ITベンダーなど各方面と議論を開始



左から
デジタル発展省 デジタル産業庁
呂正華 長官
デジタル発展省
オードリー・タン(唐鳳) 大臣

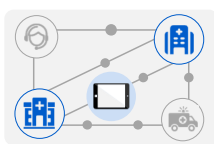


高雄市 羅達生 副市长



左から二人目
Intumit社 邱仁錫 代表取締役社長
左から四人目
Intumit社
晏毓聰 Chief of Staff & SVP

台湾発社会課題解決型ITソリューションの事例



高雄市緊急救助クラウドネットワーク

各病院の緊急治療室に入院した患者の状況をタイムリーに照会でき、救急患者の重症度などの情報を迅速に共有

救急医療の迅速化、医療現場の負担軽減を支援



車いすの経路計画とナビゲーション

車いす利用者のナビゲーションや障害物を回避する代替経路の検索などを支援するサービス

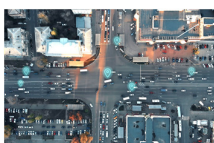
車いすユーザーとその介助者が使いやすいインターフェースを提供



ビル用スマート雨水・洪水貯留システム

雨水の流れを監視及び調整する機能を実装したIoT機器をビルの基礎に設置

降雨量や洪水情報をリアルタイムにモニタリングし、スマートな洪水制御を実現



AI交通ハザード特定

ドローンを活用し、交差点での人や車の流れを識別・追跡

AI画像認識により、衝突事故が発生した場所とパターンを分析し、交通事故防止に貢献



Copyright©2024 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

12

台湾におけるビジネスパートナー: Intumit社



- Intumit社は1999年設立、20年以上にわたりAIプラットフォームを研究・開発
- 同社の主力製品である「SmartRobot」(AIプラットフォームを活用したAI対話型チャットボット)は4ヶ国語(日・英・中・タイ)に標準対応しており、また、生成AIの活用により多くの情報から回答を提示することを可能としている
- 台湾ではチャットボットでの活用のみならず、チャットや音声での問い合わせ内容をAIで解析し担当部門への自動割り振りや回答例を自動で作成することにより、顧客満足度の向上や業務効率化を実現
台湾内外で600社以上の導入実績
- 当社は2019年に同社に出資及び同社製品の取り扱いを開始した

